

土木学会四国支部「土木紀行」No.50(愛媛県)

～愛媛県武道館の建築材～

松山市市坪西町（松山中央公園内）にある愛媛県武道館は、愛媛県における武道振興のための新たな中核施設として整備されました。県内産の木材をはじめ、菊間瓦、大島石、砥部焼、絹製品などの県産品をふんだんに用いて愛媛らしさあふれる施設となっています。

また、次の四つの「き」をコンセプトにしています。これらは、それぞれ「機能性」、「規模の大きさ」、「木などの県産品」と「来やすさ」です。

「機能性」とは世界初の「浮上式適用床転換システム」を導入したこと、また、「規模の大きさ」とは日本武道館、東京武道館と並ぶ日本最大規模の建築構造物であること、「木などの県産品」とは、建物の内装や外装に県産品を活用したというこだわり、さらに「来やすさ」とは、武道館の近くに駅やバス停留所、タクシー乗り場がありアクセスが容易であることです。これらのコンセプトをもとに、愛媛県武道館が建設されました。

まず、写真-1に示す武道館の外観の特徴は、城郭をほうふつとさせる重厚感と近代的な明るさを両立させ、木材や石などの自然素材を強調して、周辺の自然環境と調和するデザインとしていることです。屋根には菊間瓦、外壁には大島石の石積み、表面はガラス張りで内部のトラス組の

内部が外から見えるようになっています。また、西妻面外側に、県内産の無垢材と集成材を使った最長 28.3mの円柱を配し、木造建築のシンボルとしています。

これらの材料を詳しく言うと、県素材として、木造トラス屋根架構や柱材に杉の無垢材・集成材を使用、また菊間瓦は、屋根に用いられ、武道館の中庭には巨大鬼瓦（写真-2）があります。また、陶板壁画、床タイル等、内装仕上げ材として砥部焼が活用され



写真-1 愛媛県武道館の外観



写真-2 愛媛県武道館に入ると見える鬼瓦

ています。中に入ると木の香りがして森林に入ったような癒しの空間です。様々なスポーツイベントだけでなくディズニーのアイスショー等が開かれるのでぜひお立ち寄りください。

参考文献：愛媛県ホームページ

http://www.pref.ehime.jp/izanai/daterFiles/spo/dater_budoukan.html

愛媛県武道館ホームページ

<http://www.ehimekenbudoukan.or.jp/>

(愛媛大学工学部 環境建設工学科 4年 森川貴章)